



2020.5.1.

5月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸 YMCA ちとせ幼稚園

園庭の八重桜が咲き、藤棚もきれいな藤色に染まっています。クマバチはいつも通り羽音を轟かせていますが、今はそれに驚く子どもたちも保護者の姿もなく、今まで見たことのない幼稚園です。

現在、家庭保育によるご協力をいただいていることで、特別保育を実施しつつ、教職員は週1回程度ですが在宅勤務が可能になっています。感謝申し上げます。

コロナ禍の状況を見て「5/7の再開は無理かもしれない」とは思いつつも準備を進めてきましたが、昨日（この「たより」は4/29に書いています）神戸市から、臨時休業・特別保育期間を5月末まで延長するという通知が届きました。

私は、再開に向けて『誰も「無症状の感染者」である可能性を否定できない状況下で、集団感染の発生を予防しながらできる保育とは』を考えていました。（自分で考えておきながらですが、条件設定そのものが自分たちの保育を真っ向から否定しています。）

マスクとソーシャルディスタンスっていうけど、マスクは互いの表情も声も隠してしまうし、幼稚園でソーシャルディスタンスなんて、遠ざかる心の距離は2mじゃすまないだろ。大体、遊びに夢中の子どもたちが「正しくマスクを装着」して2mずつ離れてるなんて、想像もできないし。

厚生労働省から「保育所における感染症対策ガイドライン」が出ています。まさに今、活用されるガイドラインですが、基本的なスタンスは「感染拡大を最小限に食い止める」です。幼児が集団で生活するこども園で感染を完全に予防する手立ては「休園」だけです。「再開」して保育を行うという判断は、感染リスクを踏まえて決断される、ということです。

ですから幼稚園再開の時には、保護者の皆さまのご理解とご協力が絶対に必要です。

まず、保育を再開するとこどもが幼稚園で感染するリスクがある、ということをご理解ください。

「感染した、感染された」という問題ではなく、集団生活に伴う「取り除けないリスク」があるということです。

そしてその理解のうえで、感染リスクを下げ、感染が発生した場合に拡大を最小限に抑える、そのためのご協力が必要です。

「市中感染」の割合が50%を超えている状況では、こどもだけでなくご家族全員で、不要不急の外出の自粛を継続していただくこと、そして、以前なら「これ位なら大丈夫」と判断して登園していた程度でも、またご家族に体調のすぐれない方が居られる場合なども、今回は、登園の是非についてご一考いただきたい、ということです。

皆さまのご理解とご協力が絶対に必要です。どうぞよろしくお願いいたします。

臨時休業延長中に感染拡大が納まって、医療関係者の方々が余裕をもって治療にあたることのできる状況になり、このたよりでお願いしたことが「園長先生、あの時はちょっと大げさやったわ」と笑っていただけの日を待ち望んでいます。

年主題 『こころが満たされる』

<年主題聖句> 「喜びと平和であなたがたを満たす」

(ローマの信徒への手紙 I 15章13節)

5月主題 『感じる』

<聖句> 「あなたはわたしのもの。わたしはあなたの名を呼ぶ。」

(イザヤ書 43章1節)